

# 市民と歩む議員の会

## 議会報告 いけぶち佐知子



発行：「市民と歩む議員の会」 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40（市議会内） TEL：06-6384-1390（会派控室） 2019.08 No.58 【通巻129】

### ■ 5月27日から新任期スタート

4月の統一地方選を終え、新任期スタートの5月27日まで、初当選の方はまだ議員ではなく、引退や残念ながら落選された方は議員であり、というなんとなく中途半端な期間がありました。\*中途半端な期間を短くするため、現在、議会運営委員会小協議会で協議しています。facebook

いけぶちが所属する会派「市民と歩む議員の会」の議員はそれぞれ次のように議会の役が決まりました。いけぶち佐知子は（財政総務委員会委員、北大阪医療健康都市等のまちづくり検討特別委員会委員、大阪府広域水道企業団議会議員）、いそがわゆか議員は（建設環境委員会副委員長、議会広報委員会委員長、環境審議会委員）馬場けいじろう議員は（健康福祉委員会委員長、議会運営委員会委員、都市計画審議会委員）これからも3人、精いっぱい努めてまいりますので、どうぞよろしくお祈りします。



### ■ いけぶち佐知子 質問項目(代表質問)

### ■ いじめ重大事態を受けて、予算の追加提案

- いじめ重大事案について  
市長としての関わり、責任をどう考えているのか
- 開かれた市政について  
市政情報の広報、情報提供をもっと積極的に行え  
即時性、速報性と確実性、正確性の両立および  
検証可能性を求める
- 文化会館(メイシアター)改修工事について  
バリアフリー化の考えを問う  
改正バリアフリー法に則っているのか  
当事者の意見は取り入れられたのか
- 放射線副読本について  
三度の発行、それぞれの取り扱いの違いと変遷  
その理由、今後の対応を問う
- 旧北千里小学校跡地の複合施設について  
自由闊達に意見を言えるワークショップになっ  
ているか。行政の考えを押し付けていないか
- 公正公平な行政手続きについて  
締切日は何のためにあるのか
- 施政方針について  
具体的内容に乏しい箇所。その詳細を問う

※ 中面に主な質問内容を掲載しています。  
詳細な内容は、吹田市議会の会議録をご覧ください。  
会議録は、市役所の市民総務室（情報公開）、図書館等に備えています。また、市議会のホームページでは、会議録の検索・閲覧、本会議の録画放映の視聴ができます。（2018年9月定例会からはスマートフォンでも視聴できるようになりました。）

平成25年施行された「いじめ防止対策推進法」に基づき、「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」が文部科学省により策定されています。  
吹田市において平成29年(2017年)3月に認知されたいじめ重大事態について、同年10月から第三者委員会の調査が始まり、今年6月12日、教育委員会に調査報告書が提出されました。  
調査報告書を受けて、教育委員会内の「いじめ不登校虐待防止対策委員会」において、今後の対応策について検討を始め、6月20日に教育委員へ報告し、今後の対応策についての意見を受け、追加予算要求の準備を始めたとのこと。  
6月26日に企画財政室に予算要求、28日予算査定ヒアリング、7月9日に予算内示という、超スピードの予算提案でした。(議案第75号)  
いじめ事案の再発防止のため、とのことで提案された内容は、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置の拡充(人数増、時間増)、いじめ事案専任の支援者1人を新規配置、いじめなどがあつたときに訴える(仮称)子どもSOSカード(はがき)を毎学期ごとに小中学校の児童生徒全員に配布する予算で、総額約2,700万円です。  
本当にこれらの予算で、いじめの再発防止の効果があるのでしょうか。  
議会最終日に、内容を精査、検討して実施するよう会派意見(P4参照)をつけました。



いじめ重大事案 対応は十分だったか

いじめ重大事案に対応するため第三者委員会設置予算が平成29年(2017年)9月定例会に提案されました。そして、今年(2019年)6月に調査報告書が提出されました。それまでの間、**教育委員会、執行部の対応は十分だったのか**、という観点で、質問しました。

いけぶち質問

1) 2017年7月に第三者委員会設置を検討する必要があると教育委員からの助言があり、8月に設置の方針が決まったとのこと。教育委員には、いつ報告、相談していましたか。

2) 2017年8月、**市長**に第三者委員会設置方針を報告したとのことですが、それまで総合教育会議の中などで、市長に報告、相談していないのでしょうか。

3) 文部科学省の「いじめ重大事態の調査に関するガイドライン」には、教育委員会会議で調査結果およびその後の対応について議題として取扱い、総合教育会議で議題として取り扱うことを検討するとありますが、実際はどうでしたか。

教育監

1) 2017年3月にいじめ事案認知後、毎月の教育委員会会議に教育委員が来られた時に随時、被害・加害の児童の様子や、当該校の取り組み、調査の進捗状況、今後の方針などについて、報告、相談していた。

2) 市長には2017年4月に学校教育部長よりいじめ重大事態が起こった旨の報告、6月に調査に関する進捗状況、今後の方針を報告したが、**総合教育会議で報告したことはない**。

3) 本事案の調査結果は6月20日の教育委員会会議で報告しました。総合教育会議については、今後の対応について協議、調整するため、7月28日の開催が決定した。

いけぶちコメント

市長と教育委員との会議である総合教育会議において、いじめの重大事案について議題として協議されることはなかったとのこと。これでは、市全体で対応しようとする姿勢だったとは思えません。

いけぶち質問

被害児童の保護者からの所見には、第三者委員会が認定しなかった被害事実について書かれています。同ガイドラインでは、市長による再調査の条件の一つに、新しい重要な事実が判明した場合、とありますが、再調査を検討していますか。

市長

第三者委員会の調査結果及び保護者からの所見により判断することが基本であるが、加えて、関係者から**直接ヒアリング**等を行ったうえで、改めて**再調査の必要性を判断**する。

記者会見や報道提供の情報を公開せよ

いけぶち質問

市長は、7月5日に記者の取材を受けていますが、その内容は私たちには新聞報道等でしかわかりません。取材時の記録を求めましたが、会見録がないとのこと。文書回答を拒否されました。どんな内容でしたか。**市長が発言してください**。

市民部長

市長の発言の概要は、「市長の認識として教育委員会に任せすぎた」「市としてもっと手を尽くせたのではないか」という反省の表明。「学校では管理職である校長は一人しかいないので、学校を補強する仕組みが必要である」ことの表明と補強対策は7月議会で提案予定であること。「被害児童や保護者の理解を得たうえで、市長として直接謝罪する意思があること」の表明です。

市長

担当より詳細にご答弁を申し上げたとおりです。

いけぶちコメント

市長自らの言葉で発言していただきたいと質問したにもかかわらず、部長に発言させて、「部長が答弁したとおり」とはこれ如何に。あきれ果てて、再度、市長答弁を求める気にもなりませんでした。(あ～あ)

いけぶち質問

市長の記者会見の様子はどのように公開されているのでしょうか。例えば、茅ヶ崎市ではいじめの重大事態に関する記者会見映像も公開されていました。

報道機関のニュースでは一部だけ切り取られることもあり得ます。市としての公式見解は、文字情報や映像で、**市自ら公表すべき**ではないでしょうか。

総務部長

記者会見の様子の公表はこれまで行ってこなかったが、今後、映像を含めた公表について、報道機関など関係機関と協議、調整を進めていきたい。

公共施設のバリアフリー化 当事者の意見を生かせ

いけぶち質問

メイシアターの今回の改修は、改正バリアフリー法を満たしていますか。建築物移動等円滑化基準のチェックリスト項目をすべてクリアしているのかどうか、お答えください。

都市魅力担当理事

今回の改修は同基準の対象外ではあるが、チェックリストで確認したところ、階段踊り場前の点状ブロックなど既存部分で一部適合していない部分があり、今後対応する必要があると考えている。

ハード部分では法令を踏まえたものになっているが、

努力義務化された施設のバリアフリー情報の提供について検討していきたい。

いけぶちコメント

障害者権利条約、バリアフリー法において、当事者視点が求められています。当事者にとって納得のいく理由もなく、当事者意見が反映されない、ということがないよう、市長の見解も求めました。

市長は、「公共建築物のバリアフリー化は可能な範囲で積極的な対応をしていく」「法遵守だけでなく、当事者でなければ気づかないことへの対応も必要」「すべての要望に応えられない場合は、丁寧にその理由を説明し、理解を得なければならない」と答えました。

市長の施政方針から「傾聴と対話」の言葉は消えましたが、当事者の意見を聴く機会を確保したか、理解していただく説明をしたか、今後も、しっかりチェックしていきます。

行政の考えを市民に押し付けていないか

北千里小学校跡地への複合施設建設について、基本設計、実施設計の予算は通っていますが、地域住民に十分な説明、意見聴取もできていないことから、基本設計までに市民意見を丁寧に聴くことを強く求めました。

その結果、今、ワークショップが開催されていますが、受託業者は、行政の考え(公民館、図書館、児童館の複合)のまま進めようとしているように見えることから、質問しました。

いけぶち質問

行政の考え方に沿わない意見を言っても取り入れてもらえないので、ワークショップに参加したくない、という声があります。行政案を押し付けるために開いているのですか。

地域教育部長

ワークショップは全6回開催する予定で、公民館、図書館、児童館の複合整備を基本とした意見聴取であるが、これら以外の意見、考えを否定するものではない。一人でも多くの方に喜んでいただけるよう、自由闊達な場として実施していきたい。

いけぶちコメント

行政の考え方を押し付けていないといいつつ、受託業者は、契約の仕様書や基本構想には3施設の複合施設と書かれているので、そのように進めているだけと言います。

結局、行政が決めた枠からはみ出さないように進めるために、ガス抜きのためにワークショップを開いているだけではないか、その**疑問は消えません**。



市議会HP

(施政方針から) みどり政策を進めよ

いけぶち質問

「みどりの基本計画に沿って計画的に緑地の保全と緑化の推進に取り組む」とありますが、佐井寺西地区区画整理事業について、みどり政策担当としてどのようにかわりますか。

土木部長

区域面積の**3%以上の公園緑地**を適切に配置し、道路には連続した植樹をする。同事業後の開発等の協議のときには、「すいたすまいる条例」による指導、みどりの基本計画「次世代への継承」のため、**敷き際の緑化**など、みどりあふれる街になるよう、取り組んでいく。



(施政方針から) 市の成果ではなく事業者の成果

いけぶち質問

千里南公園内のカフェレストランについて、市長は「明確になった市民ニーズ」と言われましたが、来店者のうち市民がどれだけいるかのデータはないとのこと。また「想定以上の反響」と言われましたが、どのように想定していたのですか。

土木部長

オープン以来5か月近く経ったが行列が絶えず、約1.5万人/月の延べ利用者数とのこと。これほどの盛況は想定していなかったと事業者から聞いている。

いけぶちコメント

結局、市長が施政方針で述べたことは事業者からの受け売りであって、行政として何もデータもないし、予測も立てていなかったということがわかりました。

市民が実感できる80周年にできるのか

来年度、市制施行80周年を迎えます。記念事業について市民委員も入った話し合いの場であるプロジェクト会議の会議は公表されていません。市民全体を巻き込んだ企画になるのか、疑問です。

いけぶち質問

記念式典および記念コンサートは、来賓と功労者だけが出席すると聞いています。80周年記念は、その方々だけのものではありません。抽選になったとしても市民希望者も参加できるようにすべきではないでしょうか。

都市魅力部長

記念式典への参加を希望する市民の出席については、功労者や来賓の出席数の見込みや、準備、運営に関する状況等も踏まえながら、考えていきたい。

議案第75号一般会計補正予算への討論

6月12日に第三者委員会からのいじめ重大案件に対する提言等を受けて、7月議会中に提案可能と考え、市より追加議案として提出されました。

市民と歩む議員の会は、この予算を審査する文教市民委員会には委員として入っていないため、本会議質疑を行い、また委員会傍聴も行いました。

急きょ提案された内容は、子どもたちのSOSを受け止めるための人の配置（いじめ専任の相談員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー）については、一定、その効果はあるかもしれません。

しかし、今回の重大事案がSOSを出していたのに、教師が受け止めなかった、教育委員会で共有できていなかった、対応が遅かった、ということの反省に立てば、SOSが出てきた時の対応、フォローに力、予算を注ぐべきではないかと考えます。

会派として8月2日最終日に、下記の内容の討論をしました。

【1】いじめ対応にかかる人的支援

● 第三者委員会からの専門家等との連携の強化等の部分で記載されていることを反映したものであるとして一定、理解する。

しかし、単に、見える形＝人員増という発想で提案されていないか。という点など、この対応では、根本的解決の糸口にはならないことを指摘する。

● 7月28日に開かれた総合教育会議においても、教育委員それぞれから担任の補完的な人的支援等の重要性や必要性等について述べられており、根本的な人的支援や組織体制構築などの対応については、改めて提案されることを求める。

● 子どもたちの人権を守るための「いじめ事案」の対応については、校長はじめ教職員に意識改革を徹底することが、吹田市内全ての学校で求められており、意識改革の徹底を強く要望する。

【2】(仮称) こどもSOSカード印刷費

● カードの内容や仕様について、また、どのように利用するのか等定まっていな中、提案されたことについては問題である。

● 本会議質疑でも指摘した、法務省の子ども人権SOSミニレターは、人権擁護委員等との協議の上、作られたもので、人権擁護委員さんなどから返事ももらえます。今年もすでに吹田市内の学校においても配られている。

法務省のSOSミニレターに関して、教育委員会曰く、法務省からの情報提供はないと言っていたが、この制度内容や事業実績等を確認すると、「重篤、緊急性のあるものは自治体にも情報は届く」ことになっているため、法務省からの確実な情報提供を求め、連携の上、対応することは十分可能である。

すでに国で実行されているこの事業と同じことを吹田市が、今回のいじめ事案を受けて実施する必要性は薄いとしか言えない。

● どうしても、市長が「子どもたちSOSの手紙を読みたい！」ということであれば、すでに、全学校で学期ごとに実施している生活アンケートの中のいじめに関する共通事項の回答について、市長部局にも提出することに変えれば、市長も確認することができ、また、アンケートを教師が勝手に処分することはなくなる。

● 神奈川県秦野市では子どもたち自身が主体的に議論をし、作成をしいじめをなくすための取り組みとしかかので、身近な信頼している人に渡す「SOSカード」というものがある。

吹田市も子どもたちと一緒に、いじめ防止に役立つ取組みを考える等の場を設けた上で、カード等の作成を提案するのであれば理解できるが、それもできていない。

● 今補正予算中のSOSカードについては、そもそも予算提案するレベルに事業内容の精査ができておらず、当該予算提案については、賛同できない。

カードの印刷費約160万円は、子どもたちを見守る目(人)を増やすこと、子どもたちの声を聴くことができる耳(人)を増やすことに、予算を使っていたきたいと強く要望する。

議会報告をご希望の方は、下記記載の事務所宛にFAXあるいはメールでお名前、送付先をお知らせください。



■ いけぶち佐知子のプロフィール

子育て、環境、福祉、まちづくりの市民活動にかかわる「女性を議会に！無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ  
百条委員会委員(2012～2013年度)  
吹田市監査委員(2013年度)

1957年/和歌山県生まれ  
1979年/大阪大学薬学部卒業し、薬剤師免許取得  
1999年/市民のための政治を求め立候補し、初当選  
2016年/吹田女性議員の会提案により、議会傍聴時の保育を実現  
2017年/議会広報委員として『市議会NAVI』を作成  
2019年5月27日～吹田市議会議員(6期目)

